

令和4年度
富里の教育



富里市教育委員会

市の木 山ざくら



昭和45年11月、住民から一般公募して（市の木）を「山ざくら」と決めました。

市章



富里の「と」と勝利の「Vサイン」の交錯によって、躍動と発展を表わし、周囲の丸は融和と郷土愛を象徴したものです。
(昭和44年4月1日制定)

市の花 サルビア



平成10年4月、富里市の花選定委員会により住民アンケートを参考に（市の花）を「サルビア」と決めました。

市民憲章

北総台地の自然の中で健康で豊かな生活と香り高い文化を育て人と人とのふれ合いを大切に心のかようまちをつくるためここに市民憲章を定めます。

- 一 豊かな大地を愛し 歴史と伝統を誇る まちをつくりましょう
- 一 人と平和を愛し 世界にひらく まちをつくりましょう
- 一 花と緑を愛し 心身ともに健康な まちをつくりましょう
- 一 若い力を育て 勤労を愛し活力ある まちをつくりましょう
- 一 郷土と文化を愛し 調和のある まちをつくりましょう

はじめに

新型コロナウイルス感染症対応も3回目の夏を迎えました。

学校では、感染拡大防止のため、マスクの着用や手指消毒、また、3密対策など感染防止対策を徹底しながら、教育活動を進めておりますので、御家庭や地域の御理解と御協力をお願いいたします。

富里市では、令和という新たな時代とともに、市民一人ひとりが元気に輝きながら学び活躍できる富里の未来を創造するため、令和4年度からの10年とその先の将来を見据えた新たな「富里市総合計画」が策定され、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、すべての世代が心豊かに自分らしく輝いた人生となるよう「ふるさとを愛し 心の豊かさと未来を切り拓く人づくり」を基本理念に「富里市の教育に関する大綱」も併せて改訂されました。

これを受け、教育委員会で策定している第2期の「富里市教育振興基本計画」を見直し、上記、基本理念のもと、6つの目標を定めるとともに、それを具現化するための8つの基本方針を定め、現在の急激に変化する社会を生き抜くために、年齢、性別、障害の有無に関わらず、主体的な学びや知識、技能を身に付け、活用できるよう教育の振興を図っていくこととしております。

また、今年度から全小・中学校で学校運営協議会、いわゆるコミュニティ・スクールが始まりました。学校では、いじめや不登校児童生徒の増加の問題、特別に配慮を要する児童生徒の増加など、様々な対応が必要となってきております。さらには、教員の業務量の増加といった課題もあります。

一方で、地域におきましては、核家族化などの家族形態の変化や価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域における支え合いやつながりが希薄化し、地域活動の停滞や地域の教育力の低下などとも言われております。

このような中で、学校と地域の皆さんが相互に連携・協働のもとに学校づくり、また、地域づくりを進めながら、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが求められております。

是非、地域の方々に学校の応援団になっていただき、様々な活動において、地域とともに学校運営を進めていけたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

学校と地域がパートナーとなって、学校教育目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む仕組みづくりを目指していきたいと思っております、「地域に開かれた学校づくり」から、「地域とともにある学校づくり」へと1歩踏み出し、地域総がかりで、子どもたちの豊かな成長へとつながるよう進めてまいりたいと考えておりますので、御理解・御支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和4年8月

富里市教育委員会教育長 吉野光好

一 目 次

はじめに

目 次

富里市の概要・・・・・・・・・・ 1

第1章 教育行財政

- I 教育委員・・・・・・・・・・ 3
- II 教育委員会会議・・・・・・・・ 3
- III 教育委員会機構・・・・・・・・ 4
- IV 教育委員会職員数・・・・・・・・ 5
- V 教育費・・・・・・・・・・ 6

第2章 幼児期の教育

- I 就園率・・・・・・・・・・ 8
- II 幼稚園・こども園
保育園紹介・・・・・・・・ 9
- III 障害児療育
(簡易マザーズホーム・ことばの相談室)
・・・・・・・・・・ 17

第3章 学校教育

- I 小中学校紹介・・・・・・・・ 18
- II 学校施設一覧・・・・・・・・ 28
- III 研究指定等・・・・・・・・ 29
- IV 富里市学校給食センター・・・・ 30
- V 県立高等学校・特別支援学校・・ 31
- VI 学校保健・安全・・・・・・・・ 32

第4章 生涯学習・社会教育

- I 青少年教育・・・・・・・・・・ 33
- II 成人教育・・・・・・・・・・ 35
- III 社会教育行事計画・・・・・・・・ 37
- IV 社会体育の充実・・・・・・・・ 38
- V 富里中央公民館・・・・・・・・ 43
- VI 富里社会体育館・・・・・・・・ 44
- VII 旧岩崎家末廣農場別邸公園・・ 45
- VIII 富里市立図書館・・・・・・・・ 46

第5章 資 料

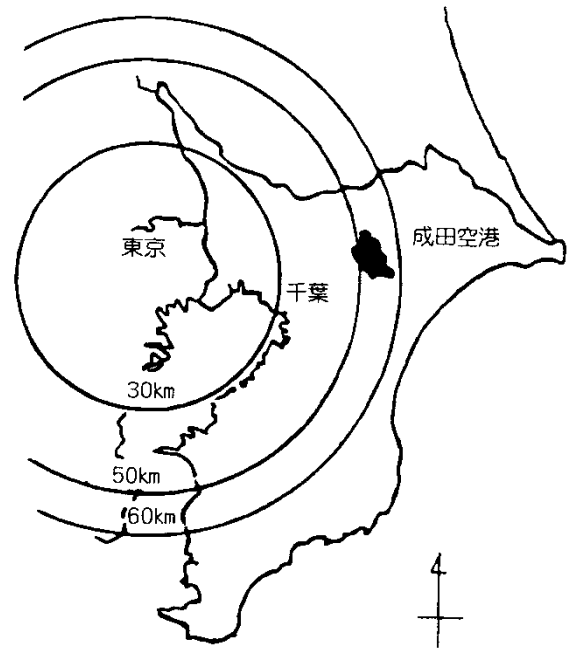
- I 各種審議会・委員会・協議会等・ 49
- II 学校・学級数、児童・生徒数、
中学校卒業後の状況・・・・・・・・ 61
- III 児童・生徒の体力・・・・・・・・ 62
- IV 学校医・学校歯科医
及び学校薬剤師・・・・・・・・ 65
- V 県・市指定文化財・・・・・・・・ 66
- VI 国登録有形文化財・・・・・・・・ 77
- VII 文化の振興・・・・・・・・ 78
- VIII 文化財の保護・保存・継承・・ 79
- IX 教育関係史・・・・・・・・ 82

富里市の概要

1 位置及び地勢

富里市は、千葉県北部の北総台地の中央に位置し、東京都心から東に50～60km圏、成田空港からは西に4 km、東関東自動車道によって都心及び空港と結ばれ、東西約10km、南北11km、面積53.88km²を有する市です。

東は芝山町、西は酒々井町、南は八街市・山武市、北は成田市に接し、根木名川・高崎川の源流をなし、肥沃な農地や自然環境に恵まれています。



2 沿革

今から約数万年前の旧石器時代、東内野には直径250mほどの池があり、周辺からは1万数千点にのぼる石器や剥片などが発掘されました。これが東内野遺跡で、旧石器時代のこの地での人々の生活を解き明かしてくれました。また、南大溜袋遺跡は縄文時代初期のもので、137点の遺物が発見されています。新橋、古囲、葉山の遺跡は縄文時代中期の遺跡ですが、弥生時代の遺物は少なく、南大溜袋と日吉倉烏山遺跡からわずかに土器が見ついているだけです。

古墳時代となると、この地域一帯に勢力をふるう豪族が早くも現れ、日吉倉東端地区から3基の方形周溝墓が発見されています。大和朝廷が関東にまで勢力を伸ばすと、力を持つ地方豪族を国造や県主に任じ、地方行政に当たらせました。『国造本紀』によると、房総の国には九つの国造が任命され、富里は「印波国造・軽島豊明朝」が治めていたと記されています。

また、このころの遺跡とされる烏山2号墳からは、鉄製の武具や須恵器群が見つかり、当時の富里は政治的にも軍事的にも重要な地域であったことがうかがい知れます。

平安時代に入ると、平将門の乱を機に房総一帯は戦乱が絶えず、江戸時代に至るまでは支配者も次々と替わり、領内はすっかり荒廃してしまいました。下総一帯とかかわりの深い千葉常胤は、源頼朝を支援し幕府を樹立した功労者として力をつけ、鎌倉時代以降はその支族の中沢氏、立沢氏、三谷氏がこの地方に勢力を張っていましたが、戦国時代になると、豊臣秀吉の小田原征伐によって、千葉氏一族は北条氏とともに滅びていきました。

徳川家康が全国を統一すると、現在の富里市域のほとんどが佐倉藩領となり、そのうち根木名川流域の地域では農間余業として薪炭の生産が盛んでした。根木名川と高崎川に挟まれた台地には佐倉七牧の内野牧と高野牧が広がって

ましたが、明治維新の政変によって失職した武士などの対策として明治3年から入植、開墾が着手されました。同8年には大久保利通によって、下総牧羊場が開設されましたが、その後牧場用地が一般開放され、開墾によって広大な畑作地帯へと変貌しました。明治6年には富里地域は千葉県に属することになりました。その後、行政区画や地方自治の制度が整えられ、明治17年には現在の富里を構成する13か村の連合が実現します。そして、明治22年4月1日、これら村々が一体となって、13か村を意味する“十三”と、豊かな郷土にとの願いをこめた“富”をかけて命名された「富里村」が誕生しました。発足当時の世帯数は801戸、人口は3,769人でした。

その後も豊かな農業地帯として発展を遂げてきましたが、昭和46年の東関東自動車道富里インターチェンジの開通や昭和53年の新東京国際空港(現成田国

際空港)開港などを経て、産業の活性化と人口の流入が続きました。首都圏より60km以内という恵まれた地理的条件と、新空港を核とした圏域が形成されることが要因となって、それらのベッドタウン的位置付けを持つに至るとともに、農業も都市近郊農業へと変容していきます。現在ではニンジン、すいかの全国有数な産地となっています。また、昭和59年から開催の「富里スイカロードレース大会」は、令和元年の第36回大会では、1万536人の選手が参加しました。(第37回～第39回大会は中止)

昭和60年4月1日に町制を施行して、「富里町」となり、平成元年には富里誕生100周年を迎え、同14年4月1日に市制を施行し、今年で市制施行20周年を迎えました。今後も長期的な視点から成田空港を核とした新たな国際空港都市の実現を旨とすことにしています。



第36回富里スイカロードレース大会
(令和元年6月23日開催)